



やまぐち りょうた
山口 亮太さん(34歳) 弥富市境町

魅力ある 農業にしたい

50ヘクタールの面積で米・麦・大豆を栽培している水稲オペレーターの中口さん。就農して今年で11年目を迎え、5年前からは山口トラクターの代表を務めています。

山口さんは、基本を忘れないことが農業経営では大切だと話します。「農業には経営、作業、栽培の3つの柱がありますが、このうち最も重要なのは農業の原点である栽培だと思っています。水稲オペレーターは作業効率を高めることも重要ですが、決して機械に乗ることが仕事の本質ではありません。従業員には『作物の顔を見る』と言っていますが、田んぼの様子を丁寧に学ぶことが大切です。作業を作業として機械的にこなしているだけだと、新たな気づきも

なく、あっという間に1年が過ぎてしまいます。農業の本来の目的である『良いものを多く作る』ことと向き合う姿勢を忘れないように心がけています」と語ります。

今後については、「3歳になる息子がいますが、将来もし跡を継ぎたいと言ったときに、親として安心して事業を承継できるような、農業を魅力ある仕事にしたいと考えています。そのためにも、栽培技術を日々磨き、米の栽培をメインにした経営を確立させたいです」と未来を描く山口さん。

最後に消費者の方々に向けて「味はもちろんですが、種を蒔いてから収穫するまで『健全に育てる』ことを大切にしています。安心・安全には絶対の自信を持って出荷していますので、ぜひ一度、召し上がってください」と笑顔で話していただきました。

